

さる人権フォーラム「ハンセン病問題を考える」（愛媛県人権対策協議会主催）で、元患者のお二人が、西条市の出身であることを名乗られました。

そして「父が亡くなったとき、昼過ぎに西条駅に着きました。実家に通じる道はとても昼間に帰れません。畦道も周りから見えないので、海辺に行ったり、加茂川で暗くなるのを待って、実家に行きました。それでも、実家にお客が来ていないか、そっと確かめて家に入りました」と涙を流し、故郷西条への思いを語られました。お二人は「隠しては、いつまで経ってもハンセン病問題は解決しない」と、老骨にむち打って立ち上がりました。

明治40年に強制隔離のもととなった「らい予防二関スル件」が制定され、100年が経ちます。昭和28年には「らい予防法」が制定され、この法律は患者たちを出口のない療養所に送り込み、子孫を絶ち、患者の死を待つ「患者撲滅法」とも言われました。

この法律が廃止されて11年

が経過しましたが、現在も全国15の療養所には、故郷に帰ることもかなわない3000人の方々がいます。

日本では昭和22年、ハンセン病の特効薬プロミンによる治療が始まり、確実に治る病気となりました。また、現在国内では感染・発症はほとんどありませんし、入所者に患者は一人もいません。

日本は戦後も終生隔離を科し続け、その国策は平成13年の熊本地裁判決まで続きました。そして、政府、国会もその政策の誤りを認めています。現在に至っても、入所者の積極的な社会復帰への支援や「遺伝をする、不治の病」などの誤った俗説、無知による差別や偏見に対する啓発に多くの課題を残しています。

西条市民の私たちに問われています。「あなたは、いつまで誤った知識、偏見により故郷を語ることさえ奪われ続けた血涙の訴えを無視し続けるのですか」と。

お二人が故郷の祭りを、家族と手を取り合って眺めることができるような実践をしていこうではありませんか。

ありがとうございました

次の方々からご好意、ご寄付等をいただきました。厚くお礼申し上げます。

(順不同 敬称略)

■まごころ銀行へ

▽川原 仁 (三津屋)、▽桑村志津子 (新町)、
▽日野豊樹 (国安)、▽渡瀬由子 (安用出作)、
▽みずほ倶楽部、▽茶道裏千家西条支部 いしづち青年部、
▽高砂演歌クラブ、▽国興産業(株)、▽丹原歌謡クラブ、▽周桑衛生企業組合、
▽国際ソロプチミストいしづち

■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子 (下島山甲)、▽散髪 伊藤泰博 (明神木)、▽新聞 芥川秀人 (神拝甲)、
▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子 (大町)、長瀬 皋 (中野甲)、▽歌・踊り 生きがい研究会・出逢いの会、
▽うちわ作り・歌 JRC西条高校

■老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽歌 徳増幾次郎 (天神)、▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ、
▽車椅子清掃 周桑地区小松婦人会

平成17年度文化庁芸術文化作品

ヘレン・ケラーを知っていますか上映会

目と耳が不自由な老女と、生きる意味を見失った少年の偶然の出会いから始まる、感動の物語「ヘレン・ケラーを知っていますか」が上映されます。

■日時 9月17日(月) ①10時30分～ ②13時～ ③15時～ (3回上映)

■場所 総合文化会館小ホール

■入場料 大人：前売1,200円 (ペア2,000円)、当日1,500円
中高生：前売500円、当日800円
小学生以下：無料

■問合せ まちづくり協働オフィス TEL0897-65-3158

東予地方の祭りと風物をPRする オリジナルフレーム切手が贈呈されました

日本郵政公社四国支社発行のオリジナルフレーム切手「東予の祭りと風物」が西条市へ贈呈されることになり、7月27日(金)に西条郵便局の武田典雄局長から渡部副市長へ額入りの切手シートが手渡されました。

この切手シートには東予地方の代表的な祭りや風物がデザインされ、西条市からは10枚ある切手のうち「西条まつり」と「法安寺のぼたん」が、シートの背景に「石鎚山」が紹介されています。

この切手は限定3,000シート発行され、7月27日から愛媛県内の主要な郵便局において1シート1,200円で販売されています。

